

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 オリコン株式会社

コード番号 4800 URL <http://www.oricon.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業広報部長 (氏名) 日高輝明

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,760	△16.2	313	△35.1	284	△34.2	141	△28.1
24年3月期第2四半期	3,293	△1.1	483	△15.7	432	△21.2	196	△46.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 137百万円 (△32.7%) 24年3月期第2四半期 204百万円 (△46.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	953.49	—
24年3月期第2四半期	1,244.21	1,241.40

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	4,263	1,878	43.6	12,621.15		
24年3月期	4,552	1,929	42.0	12,760.70		

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,859百万円 24年3月期 1,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	800.00	800.00
25年3月期	—	0.00	—	800.00	800.00
25年3月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,900	△7.9	820	△13.4	750	△13.9	400	△14.2	2,714.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	157,950 株	24年3月期	157,950 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	10,600 株	24年3月期	8,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	148,036 株	24年3月期2Q	157,786 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載している業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・通期連結業績予想を修正しております。詳細については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報.....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	6
3. 四半期連結財務諸表.....	7
(1) 四半期連結貸借対照表.....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12
(6) セグメント情報等.....	12
(7) 重要な後発事象.....	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とした緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州の金融不安や長期化する円高の影響等によって、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

一方、国内の情報通信の分野においては、通信キャリア各社よりスマートフォンの新機種が次々と発売になり、スマートフォンの普及が急速に進みました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間において当社グループでは、スマートフォンへの対応を積極的に推進し、特に、スマートフォン向け音楽配信サービスについては、配信楽曲を継続的に充実させるとともに、ユーザーの利便性と満足度を高めるための機能の拡充に注力した結果、当第2四半期連結累計期間の当サービスの売上高は前年同期の4.2倍に増加しました。しかしながら、従来型携帯電話(フィーチャーフォン)向けの着うたフル、着うた、着メロ等は、市場全体の縮小に伴って、いずれの売上高も前年同期を下回り、これらの減収分をスマートフォン向け音楽配信サービスの増収分で補えず、モバイル事業全体では、前年同期と比べ27.6%の減収(486,392千円の減収)となりました。

一方、当社グループで安定的に収益を伸ばしている「顧客満足度(CS)ランキング連動型広告」は、当第2四半期連結累計期間においても堅調に推移し、前年同期と比べ5.2%の増収となりましたが、当第2四半期連結累計期間の連結業績については、モバイル事業の減収額が大きく影響し、売上高は前年同期比532,509千円減(16.2%減)の2,760,839千円となりました。利益面については、売上高の減少を主要因として、営業利益は前年同期比169,889千円減(35.1%減)の313,458千円、経常利益は前年同期比147,801千円減(34.2%減)の284,478千円、四半期純利益は55,168千円減(28.1%減)の141,150千円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日～平成24年9月30日)においては、当第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)と比べ、モバイル事業は減収となったものの、コミュニケーション事業においてスマートフォン向けサイトの広告の販売が伸びるなどWEB広告全体の売上が増加したことを主要因として、当第2四半期連結会計期間の売上高は第1四半期連結会計期間と比べて3.4%増加しました。また、利益率の高い売上が増加したことにより、当第2四半期連結会計期間の営業利益は第1四半期連結会計期間と比べて45.3%増加しました。

	第1四半期連結会計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月1日～ 平成24年9月30日)	増減	
			金額	増減率
売上高	1,357,553千円	1,403,285千円	45,731千円	3.4%
営業利益	127,770千円	185,688千円	57,918千円	45.3%
経常利益	113,900千円	170,578千円	56,677千円	49.8%
四半期純利益	47,665千円	93,484千円	45,818千円	96.1%

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、従来「データサービス事業」に属していたオリコン・コミュニケーション株式会社の「マーケティングソリューションの提供」及び「ランキング情報等の販売」を、オリコンDD株式会社が展開する「WEB事業」に編入し、報告セグメントの名称についても「WEB事業」から「コミュニケーション事業」に変更いたしました。これらの変更は、平成24年7月1日を効力発生日とする当社の完全子会社であるオリコンDD株式会社(存続会社)とオリコン・コ

コミュニケーションズ株式会社（消滅会社）の合併に伴い、当社の経営管理において、第1四半期連結会計期間より当該変更を適用したことによるものであります。また、前年同期との比較に関する事項については、前年同期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えて算出された数値と比較することといたしました。

①コミュニケーション事業

顧客満足度（CS）ランキング連動型広告については、一部のジャンルで資料請求サービスや見積りサービスの機能を追加するなど、広告の付加価値向上に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ5.2%増加しました。顧客満足度（CS）ランキング連動型広告以外の広告商品については、PC向けサイト、並びにスマートフォン向けサイトのバナー型広告の売上は伸びたものの、タイアップ型広告の販売及びマーケティングソリューションの提供については、売上が減少しました。また、法人向けに提供しているフィーチャーフォン用着せ替えコンテンツの販売が、前年同期と比べ縮小しました。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比58百万円減（10.1%減）の517百万円、セグメント利益は前年同期比3百万円減（2.0%減）の192百万円となりました。

②モバイル事業

フィーチャーフォン向けの着メロ、着うた、着うたフルが、市場全体の縮小による影響を受け、退会者数が入会者数を上回る状況で推移し、これらの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ、それぞれ54百万円減（29.1%減）、76百万円減（38.4%減）、454百万円減（35.7%減）となりました。一方、スマートフォン向け音楽配信は、月次ベースで着実に売上が伸び、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期の4.2倍となりましたが、増収額は116百万円にとどまり、フィーチャーフォン向けサービスの減収分を補うには至りませんでした。

以上の結果、モバイル事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比486百万円減（27.6%減）の1,277百万円、セグメント利益は前年同期比104百万円減（18.0%減）の474百万円となりました。

③雑誌事業

現在、一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」、オーディション情報誌「月刊デ・ビュー」、エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「ORIGINAL CONFIDENCE」の3誌を発行していますが、雑誌の市場環境悪化の影響を受け、広告売上、購読売上がともに前年同期と比べて減少し、当第2四半期連結累計期間の雑誌事業全体の売上高は前年同期比67百万円減（9.8%減）の618百万円、セグメント利益は前年同期比26百万円減（18.3%減）の118百万円となりました。なお、3誌とも、当第2四半期連結会計期間の売上高は第1四半期連結会計期間と比べて増加しました。

④データサービス事業

データサービス事業については、音楽データベース提供サービス（放送局向け及びEコマースサイト向け）と、音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」とで構成されています。当第2四半期連結累計期間においては、音楽データベース提供サービスは、一部のEコマースサイトより解約があり、売上高は前年同期と比べ微減しました。一方、「ORICON BiZ online」については、一部のユーザー（法人）において組織改編等による契約ID

数の減少があったものの、全体としてユーザーニーズに対応したカスタマイズ等を行って契約単価のアップを図り、売上高は前年同期と比べ微増しました。

以上の結果、データサービス事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期とほぼ同額の266百万円、セグメント利益も前年同期と比べ微増の65百万円となりました。

※着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,263,208千円となり、前連結会計年度末と比べ、289,210千円減少しました。現金及び預金は66,402千円増加しましたが、売掛金、のれん、投資有価証券等は減少しました。負債合計は2,384,807千円となり、前連結会計年度末と比べ、237,782千円減少しましたが、短期借入金の増加、社債及び長期借入金の減少が、主な変動要因であります。純資産合計は1,878,400千円となり、前連結会計年度末と比べ51,428千円減少しましたが、これは四半期純利益141,150千円を計上したものの、配当金119,800千円の支払、自己株式68,664千円の取得があったためであります。自己資本比率については43.6%となり、前連結会計年度末と比べて1.6ポイントの上昇、前第2四半期連結会計期間末と比べて5.1ポイントの上昇となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ61,602千円増加し、964,730千円となりました。

営業活動により増加した資金は411,971千円（前年同期は636,013千円の増加）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益273,648千円を計上したことによるものであります。

投資活動により減少した資金は123,321千円（前年同期は123,210千円の減少）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出55,425千円、無形固定資産の取得による支出94,818千円によるものであります。

財務活動により減少した資金は227,048千円（前年同期は216,706千円の減少）となりました。これは主として配当金の支払額118,056千円、自己株式の取得による支出68,664千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ、下表のとおり修正いたします。

売上高の通期見通しが期初の予想数値を下回ることとなった主な要因は次のとおりであります。

- ・顧客満足度（CS）ランキング連動型広告は安定的に売上を伸ばしていますが、契約単価のアップを図ることのできる時期が、多くのクライアントにおいてランキングを更新する平成24年12月以降に繰り下がったため、通期の売上が期初の計画を下回る見通しとなりました。
- ・スマートフォン向け音楽配信サービスにおいて、一部のレコードレーベルが楽曲単価の引き下げを下期に行うようになったこと、さらに第3四半期にサービス開始を予定していたストリーミングサービスが、楽曲の配信許諾を得ることに時間を要し、第4四半期後半に開始時期がずれ込む見通しとなったこと等が影響し、下期の当該売上の下振れが見込まれます。
- ・前年同期に社内ベンチャーとして新規に立ち上げたソーシャルゲーム事業は、少人数で効率良く企画・運営を行い、すでに単月黒字化を果たしたものの、要員を増やさずに事業を継続する方針にしたため、下期に投入するゲームの絞り込みを行わざるを得ず、期初の計画より収益が減少する見通しと

なりました。

営業利益、経常利益、当期純利益の修正につきましては、売上高が期初の予想数値を下回る見通しとなったことが主な要因であります。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,440	1,020	930	550
今回修正予想（B）	5,900	820	750	400
増減額（B-A）	▲540	▲200	▲180	▲150
増減率（%）	▲8.4%	▲19.6%	▲19.4%	▲27.3%
（ご参考）前期実績 （平成24年3月期）	6,408	947	871	466

下期においては、上期と比べ、原価率の高い着うたフル等のモバイル事業の売上が減少し、顧客満足度（CS）ランキング連動型広告等の原価率の低い広告売が増加するため、営業利益率が上昇し、下期の営業利益の額は、上期と比べ、62.0%増加する見通しであります。

平成25年3月期 上期実績と下期見通し

（単位：百万円）

	上期実績数値 （平成24年4月1日～ 平成24年9月30日）	下期予想数値 （平成24年10月1日～ 平成25年3月31日）	増減	
			金額	増減率
売上高	2,760	3,140	380	13.8%
営業利益	313	507	194	62.0%
経常利益	284	466	182	64.1%
四半期純利益	141	259	118	83.7%

なお、配当予想につきましては、平成24年5月9日に公表した数値（1株につき800円）から変更はありません。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	903,128	969,530
受取手形及び売掛金	1,332,586	1,075,656
商品及び製品	11,220	10,519
仕掛品	9,504	9,778
その他	371,899	296,013
貸倒引当金	△4,725	△2,482
流動資産合計	2,623,613	2,359,016
固定資産		
有形固定資産	139,156	164,887
無形固定資産		
のれん	661,857	636,852
ソフトウェア	377,922	393,768
その他	3,209	3,209
無形固定資産合計	1,042,989	1,033,830
投資その他の資産		
投資有価証券	272,020	222,042
その他	489,331	494,725
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△14,372	△9,995
投資その他の資産合計	742,079	701,872
固定資産合計	1,924,225	1,900,590
繰延資産	4,580	3,601
資産合計	4,552,419	4,263,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	370,408	328,213
短期借入金	80,000	377,000
1年内返済予定の長期借入金	488,396	381,136
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
未払法人税等	92,386	78,941
返品調整引当金	25,798	22,714
その他	670,039	531,308
流動負債合計	1,823,028	1,815,313
固定負債		
社債	218,000	170,000
長期借入金	581,562	399,494
固定負債合計	799,562	569,494
負債合計	2,622,590	2,384,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,916	1,090,916
資本剰余金	12,799	12,799
利益剰余金	1,102,104	1,123,455
自己株式	△275,869	△344,533
株主資本合計	1,929,951	1,882,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,035	△22,910
その他の包括利益累計額合計	△19,035	△22,910
新株予約権	18,913	18,673
純資産合計	1,929,828	1,878,400
負債純資産合計	4,552,419	4,263,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,293,349	2,760,839
売上原価	1,940,810	1,625,175
売上総利益	1,352,539	1,135,664
返品調整引当金戻入額	14,185	25,798
返品調整引当金繰入額	24,911	22,714
差引売上総利益	1,341,812	1,138,748
販売費及び一般管理費	858,464	825,289
営業利益	483,348	313,458
営業外収益		
受取利息	1,853	179
受取家賃	4,740	—
その他	1,234	2,915
営業外収益合計	7,828	3,094
営業外費用		
支払利息	21,722	15,256
支払手数料	8,985	1,797
株式関連費	10,903	13,405
持分法による投資損失	14,206	—
その他	3,078	1,615
営業外費用合計	58,896	32,074
経常利益	432,280	284,478
特別利益		
新株予約権戻入益	3,096	239
特別利益合計	3,096	239
特別損失		
固定資産除却損	288	1,402
投資有価証券売却損	26,070	—
投資有価証券評価損	378	—
関係会社株式売却損	—	3,827
災害による損失	10,782	—
支払手数料	238	300
特別退職金	—	5,540
特別損失合計	37,758	11,070
税金等調整前四半期純利益	397,619	273,648
法人税、住民税及び事業税	38,226	114,832
法人税等調整額	149,883	17,664
法人税等合計	188,110	132,497
少数株主損益調整前四半期純利益	209,508	141,150
少数株主利益	13,189	—
四半期純利益	196,318	141,150

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	209,508	141,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,506	△3,875
その他の包括利益合計	△5,506	△3,875
四半期包括利益	204,001	137,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,812	137,275
少数株主に係る四半期包括利益	13,189	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	397,619	273,648
減価償却費	94,190	100,535
のれん償却額	23,365	25,004
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△315	△6,619
受取利息及び受取配当金	△1,871	△197
支払利息	21,722	15,256
投資有価証券売却損益(△は益)	26,070	—
売上債権の増減額(△は増加)	55,765	264,174
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,574	810
仕入債務の増減額(△は減少)	5,368	△42,194
その他	246,146	△76,944
小計	879,635	553,474
利息及び配当金の受取額	1,871	197
利息の支払額	△21,559	△15,376
法人税等の支払額	△223,933	△126,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	636,013	411,971
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49,863	△55,425
無形固定資産の取得による支出	△59,718	△94,818
投資有価証券の償還による収入	—	2,500
投資事業組合からの分配による収入	—	19,200
関係会社株式の売却による収入	—	20,346
貸付金の回収による収入	83	83
その他	△13,711	△15,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,210	△123,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	297,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△249,880	△289,328
社債の償還による支出	△48,000	△48,000
自己株式の取得による支出	△24,689	△68,664
配当金の支払額	△124,136	△118,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,706	△227,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	296,097	61,602
現金及び現金同等物の期首残高	737,791	903,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,033,888	964,730

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、実施いたしました。平成24年5月18日に2,400株、68,664千円の自己株式を取得いたしました。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	コミュニケーション	モバイル	雑誌	データサービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	575,944	1,764,186	685,521	266,374	3,292,027	1,321	3,293,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,245	4,707	7,577	—	41,530	—	41,530
計	605,190	1,768,893	693,098	266,374	3,333,557	1,321	3,334,879
セグメント利益又は 損失(△)	196,331	578,440	144,614	63,770	983,157	△1,525	981,631

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客へのブランド使用料等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	983,157
「その他」の区分の利益	△1,525
セグメント間取引消去	644
のれんの償却額	△23,365
全社費用(注)	△475,561
四半期連結損益計算書の営業利益	483,348

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	コミュニケーション	モバイル	雑誌	データサービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	517,839	1,277,793	618,314	266,441	2,680,389	80,450	2,760,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,031	3,288	6,865	300	32,486	—	32,486
計	539,871	1,281,082	625,180	266,741	2,712,875	80,450	2,793,326
セグメント利益又は 損失(△)	192,435	474,109	118,198	65,600	850,345	△14,942	835,403

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーシャルゲーム事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	850,345
「その他」の区分の利益	△14,942
セグメント間取引消去	969
のれんの償却額	△25,004
全社費用(注)	△497,909
四半期連結損益計算書の営業利益	313,458

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント区分の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、従来「データサービス事業」に属していたオリコン・コミュニケーションズ株式会社の「マーケティングソリューションの提供」及び「ランキング情報等の販売」を、オリコンDD株式会社が展開する「WEB事業」に編入し、報告セグメントの名称についても「WEB事業」から「コミュニケーション事業」に変更いたしました。

これらの変更は、平成24年7月1日を効力発生日とする当社の完全子会社であるオリコンDD株式会社(存続会社)とオリコン・コミュニケーションズ株式会社(消滅会社)の合併に伴い、当社の経営管理において、第1四半期連結会計期間より当該変更を適用したことによるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

(減価償却方法の変更)

「会計方針の変更」に記載の通り、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

(7) 重要な後発事象

連結子会社による事業譲受

当社は、平成24年10月24日開催の取締役会において、当社の連結子会社であります株式会社oricon MEが、株式会社セガのセガカラMelody事業（音楽配信事業）を譲り受けることについて決議し、平成24年10月25日に両社間で事業譲渡契約を締結いたしました。

(1) 事業譲受の理由

新たな会員を獲得することによって、音楽配信事業の拡大を図るため。

(2) 相手先企業の名称

株式会社セガ

(3) 譲受対象事業

セガカラMelody事業（音楽配信事業）

(4) 譲受価額

180,000千円

(5) 譲受日

平成24年11月1日

(6) 譲り受けた資産及び負債の額

現時点では確定しておりません。